

令和3年度 第3回近江八幡市教育振興基本計画策定委員会（要旨）

1. 開催日時 令和4年1月20日（木） 午後2時00分 ～3時20分

2. 開催場所 近江八幡市立運動公園体育館会議室B

3. 出席委員	委員長	日岡 昇
	副委員長	葛島 実加
	委員	富江 康子
	委員	楠本 茂樹
	委員	深井 千恵
	委員	三上 英夫
	委員	河村 智
	委員	小川 貴子

欠席委員	委員	青山 孝
------	----	------

4. 事務局出席者	教育部長	西川 仁司
	教育部次長兼教育総務課長	秋山 直人
	教育総務課課長補佐	澤 千央
	教育総務課副主幹	田村 俊幸

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 議事の経過

(1) 開 会

○事務局より資料の確認

(2) あいさつ

○教育部長

本日は、前回の策定委員会において多くのご意見をいただき、また熱心にご議論を賜った。それらを溶け込ませ、パブリックコメントの案を提示させていただいている。今回はその確認が主なものになる。限られた時間ではあるが、よろしく願いたい。

(3) 議題

i 第2期市教育振興基本計画パブリックコメント案について

(資料1・資料2)

○事務局

それでは、資料1と資料2について説明させていただく。

資料1は、最新の案であるパブリックコメント案となっている。今回委員の皆様にご了承いただければ、これをパブリックコメント案とさせていただきたいと考えている。

資料2は、前回の策定委員会でのご意見等を受けて修正させていただいた箇所の一覧表となっている。

表の左側が前回の素案で示したもので、右側が資料1の今回のパブリックコメント案に入れた内容となっている。

資料1では、修正した部分を赤字で示している。

資料2の新旧対照表は①から⑰までであるが、1つずつご審議をお願いしたい。

まず、資料1は2ページを、資料2は①をご覧ください。

①計画のイメージ図

○事務局

前回、「学校園」という言葉は、本計画の中に多く出てくるが、どのようなところを指しているのか、教育関係者にとっては馴染みのある言葉かもしれないが、一般市民からすると分かりにくいいため、しっかりと説明した方が良くとのことをご意見をいただいた。しかし、用語解説に入れるには、掲載ページ数が多すぎることから、「学校園」という言葉が最初に出てくる2ページに、本計画における学校園とは、幼稚園・保育所（園）、こども園、小学校、中学校の総称である旨を掲載させていただいた。

このような形で良いか、ご審議をお願いしたい。

○委員長

学校園は公立・私立に関わらずということだと思うが、その表現は入れなくても良いか。

○事務局

指標によっては、私立が取れないという部分があることから、その表現は省いている。

○委員長

そのような意図があるということで、ご了承いただきたい。

○事務局

次に資料1は7ページ、資料2は②から④をご覧ください。

②～④新型コロナウイルス感染症による影響

○事務局

前回の意見を受け、「価値観にまで多方面」を「価値観など多方面」に修正した。また、「学級づくり」は「集団づくり」の方が適切ではないかという意見もあったことから、修正した。最後の部分で、「学習機会の保障」という言葉で締めくくってはどうかというご意見を受け、「継続した学びを実施することが求められている」を「学習機会の保障に向けた主体的な取組が求められている」と修正した。

②から④の3点について、ご審議をお願いしたい。

○委員長

この3点について、前回ご意見をいただき、納得していただいたと思う。

○事務局

次に、資料1は24ページ、資料2は⑤をご覧ください。

⑤目標14

○事務局

前回の会議の後、委員から改めてご意見をいただいた。コミュニティ・スクールの成果と課題を記載した部分について、成果にふれた形にした方がより良い文章になるのではないかということであった。その意見内容に記載いただいたとおり修正した。ご審議をお願いしたい。

○委員長

これは、前回の会議では出ていなかった内容ではあるが、具体的に何がコミュニティ・スクールによってプラスになったのかという部分で改めて記載いただいたと思う。ご意見等あればお願いしたい。

○委員

「学校運営へ」ではなく「学校運営への」とすればどうかと思う。コミュニティ・スクールは全国的には3・4割というところで、近江八幡市が既に全校園をコミュニティ・スクールにされたというのは非常に先進的だと思う。それだけではもったいないので、校長先生方にお聞きしたい。私は協議会委員をさせていただいている中で、学校運営を応援したり、学校運営案を校長先生が示しになられると今まで以上にお気持ちが伝わってくるということもあったため、文中に「理解」と「支援」という言葉を使わせていただいた。

○委員長

委員の中に3名の校園長がおられるので、今の実態も含めてご意見いただければと思う。

○委員

八幡中学校ですが、学校運営協議会の委員のご意見やアドバイスなどは学校運営に参考になり、ありがたいと感じている。ぜひとも入れていただきたい

と思う。

併せて、「でき」の後に「、」があった方が良いと思う。

○委員

学校の校長から捉える課題を学校運営協議会で話させていただくと、受け入れていただき、地域からどういう支援ができるのかというような視点でアドバイスをいただいている。

○委員

幼稚園も同様。

○委員

幼稚園が抜けているが、「学校」の中には「幼稚園」も含まれるということか。法律的には。それとも「各校」に「園」入れるのか。

○委員長

幼稚園としては入れていただいた方が良いか。

○委員

上段に「学校園において」と記載がある。

○委員

「学校運営」の部分も「学校園運営」となるのか。

○事務局

「学校園」を2ページで定義させていただいた際に、保育所やこども園が入ってしまうので、この部分だけは「学校・幼稚園」という形として良いか。

○委員

「学校運営」の部分も「学校」を取って、「各学校・幼稚園の運営」としてはどうか。

○事務局

「各学校・幼稚園の運営への理解は高まりつつあります」ではどうか。

○委員長

この内容で良いか。

○各委員

良い。

○事務局

次に、資料1は37ページ、資料2は⑥をご覧ください。

⑥施策1 成果指標No.3

○事務局

成果指標の3の内容が「5年生までに受けた授業では」と、小学校のことは掲載されているが、指数では中学校も挙げられているという意見を受けて、全国学力学習状況調査の質問にあるとおり、「中学1、2年生の時に受けた授業では」という文言を追加した。ご審議をお願いしたい。

○委員長

中学校も追加していただいた。

○事務局

次に、資料１は４１ページ、資料２は⑦をご覧いただきたい。

⑦施策３ 成果指標№.５

○事務局

成果指標の５「授業エスケープ人数」について、中学校は現状と５年後の人数が同じであるが、変更はしないのか、同じ人数ということに違和感があるというご意見をいただいた。

その際の事務局の説明として、平成３０年度から令和２年度までの過去３年間の最少人数の９１人を最終目標値として記載したこと、令和２年度は、４月と５月が休校期間という中で９１人であったため、５年後には休校期間がなくてもその数値を目指したいということ、そのために同じ人数になっていると説明させていただいた。

説明を受ければ、なぜ同じ９１人なのか分かるが、それであればなぜその人数にしたのか理由を付けてはどうかという話が前回あった。

事務局として検討させていただいたが、同数であるため違和感はあるかもしれないが、そうなるとこの指標に限らず、なぜこの指標を設定したのか、他のどの指標においても１つ１つにおいて理由や説明が必要になると考えられるため、説明は付けずにこのままとしたいと考えている。

ご審議をお願いしたい。

○委員長

前回の委員会においても説明があったと思うが、令和２年度は休校期間を含んでの数ということで、休校期間がなくてもその数値を維持していこうということだったと思う。本来は説明が必要だが、文章化するのが難しい。

○事務局

ここだけ説明を入れるという訳にはいかない。

○委員長

非常に微妙な数値ではあるが、ここに居られる委員はご理解いただけたと思う。説明を求められた際には、ご理解いただけるようしっかりと説明いただき、進めていただくということをお願いしたい。

○委員

今の部分の下に「不登校在籍率」とあるが文部科学省では「不登校児童生徒」とあり、「不登校在籍率」という言葉はないので「児童生徒」を入れていただければと思う。

○委員

授業エスケープというのは、そのような用語があって、授業をさぼったとい

うことか。

○委員長

授業を抜けたということ。

○委員

「人」とあるが、1つの授業を抜ければ1人とカウントされるのか。授業エスケープの人数というのがどのようにカウントされるのか。

○委員長

延べ人数ではなく実人数でカウントする。

○事務局

次に、資料1は42ページ、資料2は⑧をご覧ください。

⑧取組4-2 就学指導・相談の充実

○事務局

この部分は、前回の会議の際に、「種類や程度に基づいて」という表現の方が良いのではないかという意見を受け、修正した。

○事務局

資料1は30ページ、資料2は⑨をご覧ください。

⑨ユニバーサルデザインとバリアフリー

○事務局

12月の段階では、施策4・12の部分も「ユニバーサルデザイン」とさせていただいていた。しかし、庁内において「バリアフリー化」と「ユニバーサルデザイン」はそもそも違うものであるという指摘を受けた。

「バリアフリー化」とは、対象となる方の物理的、精神的なバリアを取り除くということで、「ユニバーサルデザイン」は、初めから誰もが利用しやすいように整備をすることであり、別物であるという指摘だった。

この指摘を受け、施策4の「特別支援教育の充実」の部分には「ユニバーサルデザイン」ではなく「バリアフリー化の推進」を掲げさせていただき、資料1の32ページの「これからの学校園づくりにおける施設の整備」の部分では、「バリアフリー化の推進」をもう一度掲げるとともに、「ユニバーサルデザインの推進」も明記した。

以前までは「ユニバーサルデザイン」だけだったが、施策4には「バリアフリー化」、施策12には「ユニバーサルデザインの推進」という形で整理した。

この整理を受けて、取組内容も「バリアフリー化の推進」にはバリアフリー化のことだけを、「ユニバーサルデザインの推進」にはユニバーサルデザインの整備に努めるという言葉に変えさせていただいた。

さらに、取組の順番を変更させていただいている。

○委員長

特別支援教育の場合はバリアフリーという形、一般整備の場合にはユニバーサルデザインという形をとっていかうということなので、前回から取組の体系が若干変更となっている。

○委 員

施策の内容において、「個々の状況に応じ、エレベータ設置や段差の解消、スロープといった」というように具体的な事が書かれている。個々の状況が多様になってきているが、本当に個々の状況に応じて、施設の整備が可能なのか。これらの言葉が「してもらえる」と捉えられそうなので、ここまで詳しく書いてもいいのかなと思う。

○事務局

バリアフリー化の施設の整備について、問題は財政面であり、スロープは比較的簡単に設置できるが、エレベータの設置は計画的に進めていかないと非常に難しい。しかし、バリアフリー化は、文部科学省も指針を出しており、エレベータについては積極的に設置していく方向性のため、本市としてもそのように進めていきたいという思いで具体的に記載した。

○委 員

トイレも多目的トイレを設置していただいているが、実際のところ、あの多目的トイレでは小さいというような状況も、話をしている中で上がってきている。その中でさらにそのトイレを改修するのか、その子に応じた別のトイレを用意するのかという部分の対応が窓口となる学校は非常に難しいと感じている。

○事務局

合理的配慮の範疇でというのはあるが、計画的に可能な限り対応していきたいとは思っている。

○委 員

学校側としては、このように記載していただいているので、いろいろな対応をしていただけると期待しているが、やっぱりできませんでしたという回答はできないと思う。

○委員長

新しくなった学校については問題ないと思うが、これから建て直そうとしている学校のことだと思う。エレベータを設置して、数年後に改修するのはどうかという校長先生の思いもあるのだと思う。

○事務局

子どものことを思うと直ぐにでもという思いはあるが、財政的な面もあるので、直ぐではなく計画的にとさせていただいている。

○委 員

ユニバーサルデザインという言葉はなかなか説明が難しい。この基本計画に横文字がたくさん載っている。市民が理解しにくいのではないかなと思う。そ

ういう心配はある。

○委員長

エレベータ等の具体的な事を記載すると、保護者や地域の方々が「やってくれるだろう」ということで、その対応は計画的にというご説明をお願いしたい。また、「ユニバーサルデザイン」については用語解説があるのか。

○事務局

用語解説には記載している。

○委員長

今の保護者は理解されていると思う。PTAの方もおられるがいかがか。

○委員

もう少し若い方はご存じかと思う。

○委員長

誰もが利用しやすいデザインであるということで説明をお願いしたい。

○委員

「エレベーター」と「エレベータ」の統一を。文部科学省の扱いは「コンピュータ」と同じで「エレベータ」だと思う。

○委員長

「エレベータ」で統一をお願いする。

○事務局

資料1は44ページ、資料2は⑩⑪をご覧ください。

⑩⑪字句修正

○事務局

方針の中に「幼稚園、保育所、こども園、小学校及び中学校が」となっていたが、2ページで「学校園」と定義させていただいたので、この部分を「学校園」と修正した。

次に、記載ミスで、指標の部分でまだ令和3年度は終わっておらず、令和2年度の数値だったので「令和2年度」と記載させていただいた。

○事務局

資料1は54ページ、資料2は⑫をご覧ください。

⑫メンタルヘルス不調

○事務局

前回の会議の中で「メンタル不調」という言葉があるのか調べておいてほしいという指摘を受け、またご意見をいただいた。厚生労働省においても「メンタルヘルス不調」と定義されていることから「メンタルヘルス不調」の方が適切だと考え、修正し、用語解説にも追記した。

○事務局

資料１は６０ページ、資料２は⑬をご覧ください。

⑬「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」の指標

○事務局

前回の委員会の中で、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」に力を入れていて、「あいさつ」だけがどこにも指標がでてこないで「あいさつ」に関する指標があると良いという話があった。教育委員会では「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動に関する取組や生活習慣作りに活かすために、アンケートを３年ごとに実施している。小さい子どもには保護者向けに、自分たちでできる子どもたちには自分たちで答えてもらうようにアンケートを実施している。このアンケートの中の「あいさつについて」を指標に入れてどうかと考えた。３つ設問があるが、近江八幡市の子どもたちには家族や友達だけではなく、地域の方にもあいさつができるようになってほしいという思いもあるので「近所・地域の人にあいさつをしますか」という部分を指標に入れた。ただし、このアンケートは３年ごとに実施しているため、今年度実施し、今後令和６年度、令和９年度に実施する予定だが、この計画は８年度までなので、令和６年度が最終目標となる。このことから計画の最終目標の部分にも令和６年度と記載させていただいた。ご審議をお願いしたい。

○委員長

今年度の集計がすでに出ているので、令和６年度に向けてのということになる。

○事務局

資料１は７０ページ、資料２は⑭をご覧ください。

⑭計画の進行管理

○事務局

最後の計画の進行管理の部分を事務局で再度見直しを行った。その際に「施策」と「取組」という言葉が何度か出てくるが、「施策」は教育大綱の中でしか修正ができないが、「取組」はこの委員会で見直し、また今後計画を見直すこともできる。「施策」と「取組」が混在しており、使い方も混同していたので、その部分の見直しをさせていただき、修正した。

○委員長

教育大綱の「施策」と基本計画の「取組」を明確にするために統一していこうということ。

○事務局

資料２の⑮⑯⑰は用語解説に係る部分で、またご確認をお願いしたい。

○委員

「メンタルヘルス」が先ほど出てきたが、「メンタルヘルス」を用語解説す

る必要があるのか。「メンタルヘルス」は辞書で引けば書いてあるので入れる必要はないと思う。「メンタルヘルス不調」を入れた方が良いと思う。「メンタルヘルス不調」は、精神的な病気だけではなく、ストレスなどそのようなもので傾向が見いだされていく。そのようなものが定義されているので、できればそれを載せていただく方が一般の方によく分かるのではないかな。

○委員長

81 ページを「メンタルヘルス不調」に修正していただくということによろしいかな。

○事務局

「不調」を入れて記載する。

○委員長

その他にいくつかのミスがあったので、資料2のとおり修正されているのかご確認をお願いしたい。「メンタルヘルス」については「メンタルヘルス不調」に修正をお願いする。

ii パブリックコメント実施方法及び周知方法等について（資料3・パブリックコメント実施要領）

○事務局

資料3をご覧ください。パブリックコメント実施要領を記載させていただいた。1月25日火曜日から2月25日金曜日までパブリックコメントを、本日ご指摘いただいた部分を修正し、実施したいと考えている。パブリックコメント案と概要版を作成したので、その2種類を資料として公表する。公開場所は近江八幡市ホームページのほかに、情報公開コーナー、教育委員会事務局、各学区のコミュニティセンター、図書館2館としている。意見の提出方法については、郵送、FAX又はメールの3種類としている。意見を提出できる方は、市内に在住、在勤、在学の方若しくは市内に事務所又は事務所を有する個人、法人及びその他の団体としている。市が実施するパブリックコメントに則っている。

パブリックコメントが終わり、最終完成版の周知方法については、ホームページで本編と概要版を掲載する。教職員の方には本編をこの計画に基づいた学校運営となるように、管理職の方に向けて説明会を行い、その際に配布したいと考えている。保護者の皆様には、概要版を学校園を通じて配布したいと考えている。

パブリックコメントの実施方法とその後の周知方法についてはこのように考えているが、いかがかな。

○委員長

ご意見等あればお願いしたい。

○委員

パブリックコメント実施要領について、「令和4（2022）年」と表記を統一した方が良いのではないかと思います。文章を読めば分かるが、正確に表記した方が良い。

「作成いたしました」とあるが、「作成しました」で良いと思う。

留意事項の3つ目の「お受けできませんのでご了承ください」と「明記ください」に「。」が抜けている。また「明記ください」について、「ご了承ください」のように「ご」「名詞」「ください」と表すが、「明記ください」のように最近「お」や「ご」なしで記載されることが増えてきている。それは「ら」抜き言葉と同じで文法的には正しくないと言われている。書くのであれば「ご明記ください」若しくは「明記してください」と記載した方が良いと思う。

○委員長

今の内容を参考にさせていただき、修正の必要があるところは修正をお願いしたい。

○委員

教育大綱のパブリックコメントを土台につくられているが、そちらについては何も言えないので、直せるところだけでもお願いしたい。

○委員長

願います。

iii 第2期市教育振興基本計画〈概要版〉について（資料4）

○事務局

概要版を作成した。計画の趣旨、位置付け、期間、構成を記載した。方針と取組内容で目標の内容と施策の方針は文章で記載させていただいている。取組も本来であれば記載したいがページ数が増えていく一方だったので、取組名だけにさせていただいている。

最終ページには「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動について、子どもたちだけでなくみんなで取り組みましょうということで記載させていただいている。表紙にはカットや写真を入れるかもわからないが内容的にはこのような形でいかがか、ご審議をお願いしたい。

○委員長

資料1の基本計画の内容から概要版を作成いただいた。わかりやすい内容であるのか、ご確認いただき、気になる部分があれば意見ををお願いしたい。

○委員

そもそも皆さんに読んでいただけるのかなというのはある。表などもあり見やすいとは思いますが、隅々まで一言一句読んでいただけるのかなと思う。「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」は皆さん知っていただいていると思うが、私もこの委員会に参加させていただいて、皆さんのご意見を聴いて、一主婦なのであまり言えることもないし、たくさんの資料も読んでいて眠くなりそう

な感じだったが、教育熱心な保護者であれば読まれると思うが、どれくらいの方が読んでいただけるのかというのはある。すごく忙しい方も多いので。例えば特別支援など、自分が興味のある部分は読まれると思うが。私自身がこの委員会に参加していなくて、子どもが持って帰ってきたらパッと見て終わると思うし、そのような方が多いのではないかなと思う。

○委員長

これ以上概要として削ってしまうと、なかなか思いが伝わらない部分もあると思うが、正直な思いをおっしゃっていただいたので、文字を大きくするとか、絵を入れるとか工夫していただければいいのかなと思う。

○事務局

最初はA3版の1枚もので考えた。ただ、そうすると目標が書いてあって施策の名前が書いてあって取組の名前があってと、名前だけの羅列になり何も説明がないものになってしまう。それでもそちらの方が良いか。

○委員

まじめな保護者の方だと熱心にお読みになられると思うし、皆それぞれだと思う。日々の忙しさで、しっかり読まれる方が自分の学校でもどれくらい居られるのかなと思う。例えば1ページ目は読んだとして、中の取組で文字がいっぱいあって嫌だと思われる方はおられると思う。

○事務局

以前に考えたA3版がある。こうすると取組も全部は載せられない。ただ、目には留まるし、こちらの方が見てもらいやすいかなというものはある。

○委員

見てすぐ嫌だと思われる方もいるのかなということを考えると、A3版から入って、この詳しい説明はこの概要版になるという方が良いと思う。これだけでも読んでもらえればという感じでまず渡して、もっと深く知りたいという方は今回の概要版を手にとっていただけたらと思う。これだけでもお伝えしたいのであればA3版の方がまだ読んでもらえるのではないかなと思う。

○委員

スマートフォンから見られるのであれば、クリックすれば展開できるようにすればよいのではないかな。

○委員

先日学校でアンケートをされていたが、校長先生が初めてインターネットで答えてもらうアンケートをした際に、集計も非常によく、学校側も楽だったとおっしゃっていた。保護者も時間がないので、そのようなものも携帯から見られれば、何かの合間に見ることができる。紙ベースしかないのであればかしこまってきちんと読まないといけないというのがある。それよりかはインターネットでリンクしてというように気楽に見られるようにした方が良いと思う。皆さん、何かの待ち時間にはスマートフォンを見られているので、そのよ

うにできる方が皆さんに見ていただけるのかなと思う。

○委員長

保護者にも色々な方がおられるが、今おっしゃっていただいたように、皆さんスマートフォンを使っておられるので、そこから入っていった概要版に飛ぶことができるのであれば、自分の興味のある場所は読んでいただけたらと思う。本計画は、校長先生や教頭先生が全教職員に説明されて、例え一番簡単なA3版のものであったとしても、保護者の方からどういふことですかと聞かれればきちんと答えられないといけないと思う。教職員に詳しく伝えて、先生方も疑問に思うことはおっしゃっていただければいいと思うが、保護者から問われたときに説明できるようにしておかなければならないと思う。一番良いのはスマートフォンや家庭のパソコンから、概要版から一步奥へ入っていきけるような形ができればよいのかなと思う。

私自身は、今回の資料の概要版はわかりやすく良いのではないかなと思って見ていたが、知っている者が見るのと初めて見られる方が見るのとでは思いが違ふので、いろいろな形で準備しておいた方が良いのかもしれない。一番はA3版から入っていただいて、「詳しくはホームページをご確認ください」でも良いと思う。

○委員

開いたときに1、2となっているが、「かわいいイラストでいじめの絵があったり、パッと開いたときに何かが書いているのかが分かると入っていきやすい。そのようなものがあるだけでもこれは何の事が書いているのかなど、そのようなことが一目で分かった方が見てもらうためのハードルが下がると思う。そこから自分が読みたい部分を読んでももらったり、ついでに全部読んでももらったりするのはないかなと思う。

○委員

A3版の方が良いのではないかなと思う。施策としては全て同じではない。あれもこれも記載するのではなく、「主体的・対話的で深い学び」やICT活用、コミュニティ・スクール、働き方改革などの重点施策だけをクローズアップして、重点的にこの5年間は取り組みますというのを示せば、学校はこのようなことを頑張ってくれるのだと分かる。重点的な施策を強調したようなものを作っていただいて、詳しくはホームページなどで見られますというようなものでどうかと思う。

○委員長

色々な立場で意見をいただいたが、概要版は保護者に渡すので、保護者が分かりやすいのがベストだと思う。1枚にしてホームページを見れば詳しくわかるという形でも良いし、5つの目標が出ているがその中の特にお伝えしたいことを記載していくという形もあると思う。これについては事務局でもう一度考えていただいて私に預けていただいてよろしいか。最終的に今回の資

料のような形にするのか、A3版のような形にするのか、挿絵を入れるのかも含めて一任させていただいても良いか。

○委 員

はい。

○事務局

本編は当然出すべきものだとは思いますが、概要版は本来パブリックコメントに出すべきものなのか。

○委員長

通常は全部決まってから、こんな概要版ができたとなると思う。

○事務局

25日からパブリックコメントに出させていただくのは、本編だけとさせていただき、概要版についてはもう少し事務局で検討したい。パブリックコメントには出さずに考えさせていただいても良いか。

○委 員

前は、概要版はあったのか。

○事務局

なかった。

○委員長

市の総合計画ではあったか。

○事務局

総合計画ではあった。

○委員長

決まってから概要版はいただいたが、パブリックコメントをするというときに概要版はあったのか。

○事務局

なかったと思う。

○委員長

その辺りも含めて今回は本編だけでよいか。

○委 員

今回の資料の概要版について、最後の2行のPDCAが記載されているが、「check」というのは一音節なので切らない。「ck」が改行されて左に行っているが。どうしても切る必要がある場合は二音節で「action」の「ac」と「tion」はありだが「check」を分けるというのは良くない。

○委 員

せっかく「にこまる」のイラストがあるので「にこまる」という名前を入れていただきたい。

○委員長

「にこまる」も子どもたちで名前を決めた。せっかくなので入れていただく

よう願います。

○委員

概要版で「再掲」と「後掲」とあるが、これはあった方が良いのか。必要があるのであれば、6ページ施策8のNo.5に「後掲」とあり、9ページ施策17のNo.5にも「後掲」とあり、10ページ施策19のNo.9に「再掲」がない。これは無くても良いのか。

○事務局

ここが主となる政策になるので記載していない。

○委員長

他によろしいか。

(他に意見なし)

(4) 今後のスケジュールについて

○事務局

25日から1か月間パブリックコメントを実施したいと考えている。どれだけ意見があるのか分からないが、次回はその意見に対する事務局としてこのように対応するということを示して、ご審議いただきたいと考えている。委員会の前には事前に資料を送付させていただくので、ご意見を伺いたいと考えている。

次回、その内容をご承認いただければ、その内容で完成とし、後日委員長から大喜多教育長へ答申をいただきたいと考えている。

○委員長

パブリックコメントが終わって、最後の委員会は3月上旬頃となるのか。

○事務局

上旬から中旬になると考えている。

○委員長

あと1回なのでよろしくお願いします。

○事務局

次回の日程については、できるだけ早く決定し、お知らせしたいと考えているので、日程調整をお願いする。以上をもって第3回の策定委員会を閉会する。